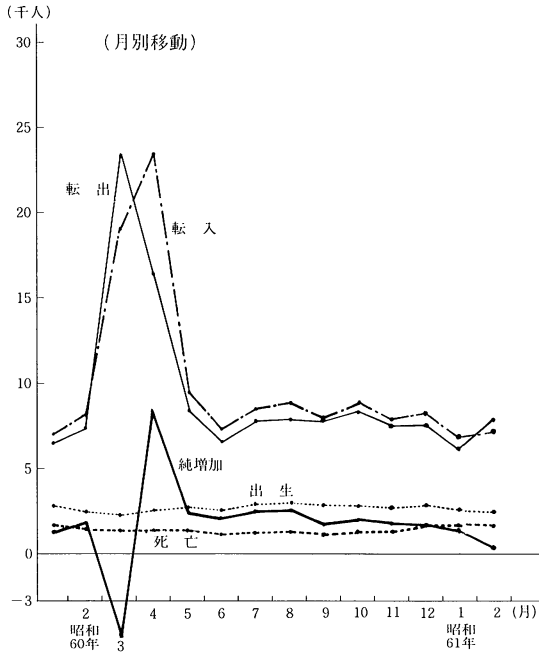


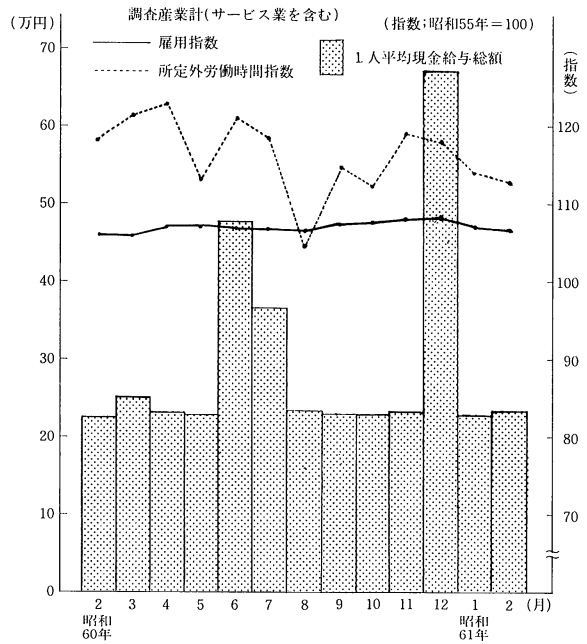
● 今月の主な動き

今月の主な動き

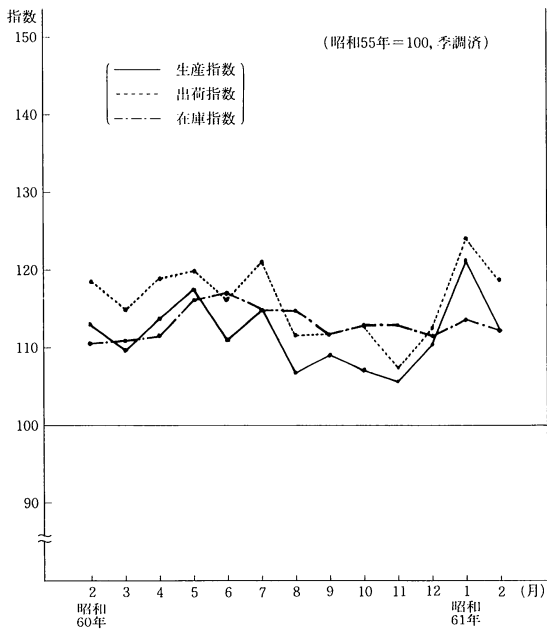
人 口



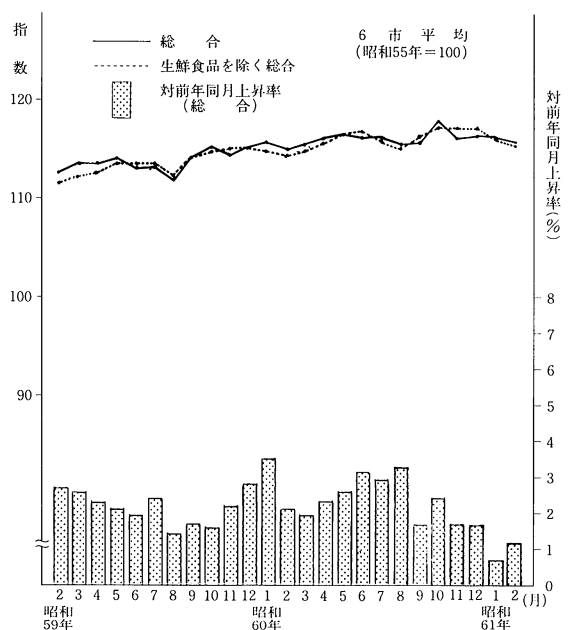
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■ 人 口 (3月1日)

本県の人口は、2月中に373人増加し、3月1日現在で2,732,603人(男1,361,441人、女1,371,162人)となった。

内訳は、自然動態で931人(出生2,495人、死亡1,564人)増加であり、社会動態で558人(転入7,408人、転出7,966人)の減少である。

市町村別では、増加が8市44町村、減少が10市29町村、増減なしが1町である。

世帯数についても、96世帯増加して、760,342世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (2月)

1. 平均賃金の推移

2月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は233,573円で前月に比べ0.7%増(前年同月比2.6%増)であった。

このうちきまって支給する給与は231,948円で前月に比べ2.0%増(前年同月比3.1%増)であり、特別に支払われた給与は1,625円で前年同月に比べ1,095円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は178.1時間で、前月に比べ11.0%増(前年同月比1.4%減)であった。

このうち所定内労働時間数は160.2時間で、前月に比べ11.2%増(前年同月比1.0%減)であり、所定外労働時間数は17.9時間で、前月に比べ11.2%増(前年同月比4.1%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、107.2で、前月に比べ0.1ポイント減、前年同月に比べ1.2ポイント増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (2月)

本県における昭和61年2月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が112.1、出荷が118.7、在庫が112.0で前月比は、生産が7.3%の低下、出荷が4.4%の低下、在庫が1.4%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が0.5%の低下、出荷が0.2%の上昇、在庫が1.6%の上昇であった。

業種別にみると、生産では、鉱業、窯業・土石製品工業、電気機械工業等が上昇し、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、石油・石炭製品工業等が低下した。出荷では、電気

機械工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業等が上昇し、輸送機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。在庫では、鉱業、一般機械工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、輸送機械工業、精密機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、耐久消費財、鉱工業用生産財が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、資本財等が低下した。在庫では資本財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (2月)

昭和60年2月の茨城県消費者物価指数は、総合で116.3(昭和55年=100)となり、前月比0.2%の下落、前年同月比1.3%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草2.2%、身の回り用品1.3%、油脂・調味料1.1%、穀類0.5%

今月下がった主な項目……衣料△6.3%、シャツ・下着△2.1%、果物△2.0%、肉類△0.5%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	116.3	△0.2	1.3	保健医療	117.2	0.0	3.2
食 料	117.2	0.3	0.4	交通通信	111.4	△0.2	2.4
住 居	120.7	0.1	5.0	教 育	140.2	0.0	4.3
光熱・水道	107.2	0.0	△1.2	教養娯楽	117.8	△0.1	2.0
家具・家事用品	111.4	0.1	1.2	諸 雑 費	114.7	0.3	0.5
被服及び履物	111.2	△3.4	△0.1	生鮮食品を除く総合	116.0	△0.3	1.5